

二俣小 コミ・スクだより R4.6.29 No.1

ふるさと二俣の地域・保護者とともにある学校、子供たちの輝く未来を目指して

令和4年度 コミュニティ・スクールが始まりました

6月14日（火）、第1回学校運営協議会を行い、二俣小学校のコミュニティ・スクールが始まりました。学校・地域・保護者が一体となって、ふるさと二俣の「人・もの・こと」の活用を通して、子供たちを学校教育目標「仲間と共に学び、考え、行動し、ふるさとの今と未来をつなぐ子」に育てていきたいと思ひます。

第1回学校運営協議会では、学校運営基本方針の承認、学校運営協議会組織の承認、二俣小コミュニティ・スクールの活動計画の話合いを行いました。詳しい内容につきましては、二俣小ホームページを御覧下さい。また、コミュニティ・スクールの情報として、「二俣小コミ・スクだより」を発行させていただきます。是非御覧ください。



1 コミュニティ・スクール(CS)とは？

コミュニティ・スクールとは、新学習指導要領にうたわれている「社会に開かれた教育課程」を実現するための仕組みであり、「地域とともにある学校づくり」を推進するための仕組みです。

「学校運営協議会」を設置している学校を「コミュニティ・スクール」と呼びます。

2 学校運営協議会とは？

地域の皆さんや保護者が委員となり、学校の目標や課題を熟議・共有し、子供たちに必要だと考えられる活動や支援につなげていく会です。二俣小では令和4年度に3回実施する予定です。

学校運営協議会委員 会長 坪井理佐雄（学校支援コーディネーター） ※敬称略

副会長 太田 佳子

委員 野中 庸孝 野尻愛美子 川島 隆史

岩田 早苗 武田 友子（学校支援コーディネーター）

学校職員 校長 教頭 教務主任 コミュニティ・スクール担当職員 CSディレクター

3 CSにより期待される効果は？

- ・教職員が転勤しても学校運営協議会があるため学校と地域の連携・協働体制が維持できる。
- ・子供たちにとっては、学校だけでは実現できない豊かで多様な体験や学びが充実する。
- ・保護者にとっては、地域の中で子供たちが育てられているという安心感がもてる。
- ・地域の皆さんにとっては、それぞれの経験を生かすことで、子供や地域の役に立っているという充実感につながる。
- ・教職員にとっては、地域の皆さんの協力により、教育活動の充実と子供と向き合う時間の確保につながる。



4 コミュニティ・スクールの学校支援活動について

- ・読み聞かせボランティア（スマイルマミー）
- ・クラブ活動ボランティア（生け花、絵手紙、裁縫、スポーツ）
- ・学校行事支援（運動会・持久走大会・校外活動）
- ・学習支援ボランティア（家庭科・生活科・総合・書写）



学習支援ボランティア募集

保護者・地域の皆様に、学習支援ボランティアを募集します。内容は、家庭科での調理実習・裁縫実習支援、書写の習字（毛筆）支援、生活科や総合的な学習の時間（みぶタイム）での校外学習引率補助です。

教員の手が届きにくい面で支援をいただくことにより、一人一人にきめ細かい支援ができるとともに、子供たちの学習意欲が高まるという効果が期待できます。保護者・地域の皆様とともに子供たちを育てていきたいと思っておりますので、是非多くの方の登録をお願いします。登録していただきましたら、支援が必要な時に学校から御連絡します。

下記の登録用紙に必要事項を御記入の上、学校に提出していただくか、学校に直接御連絡ください。よろしく申し上げます。

担 当 教頭：内山 CS 担当：大多和
連絡先 053-925-4178

切 り 取 り

学習支援ボランティア登録用紙

氏 名	※保護者の方は、在籍するお子様の学年・組・お名前 年 組（ ） 年 組（ ） 年 組（ ）
住 所	
連絡先	

御協力いただける教科を○で囲んでください。（複数可）

家庭科（調理・裁縫） 書写（習字） 生活科 総合

学年等の御希望がありましたら、下記にお書きください。